

平成25年度 第2回生駒市景観審議会 会議録

1.日 時 平成26年1月10日(金) 10時00分～

2.場 所 生駒市役所4階 401会議室

3.出席者 市長 山下 真

(委員) 久会長、下村副会長、嘉名委員、中西委員、福本委員、久保委員

(事務局) 山本部長、中井課長、川端課長補佐、高谷係長、松田主査、阪本主任、山下

4.会議公開 公開

5.傍聴者数 2名

6.議事内容

事務局 新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。
本日は新年早々ご多忙の中、平成25年度第2回生駒市景観審議会にご出席賜りまして、ありがとうございます。
委員のみなさまがお揃いになられましたので、ただ今から開会させていただきます。
本日の会議につきましては、「附属機関等の会議の公開に関する基準」第2条の規定に基づきまして、傍聴を許可しておりますのでご承知おきをお願いいたします。
なお、本日の審議会につきましては、一名の委員から所要のためご欠席との連絡を受けております。委員7名のうち6名のご出席いただいておりますので、生駒市景観条例施行規則第19条第7項の規定に基づきまして、本日の会議は成立していることをご報告申し上げます。
それでは、開会にあたりまして、山下市長からごあいさつ申し上げます。よろしくお願ひいたします。

市長 景観審議会のみなさま方には、生駒市の景観行政にご協力を賜りまして改めて御礼申し上げます。

生駒市は、平成23年1月、今から3年前に景観行政団体となり、23年4月から景観法に基づく景観計画を策定いたしまして、大規模な建築物等については景観に関する計画の届出を義務化し、現在、規制を中心とした景観形成の取組みを行っているところでございます。

今回は、その普及・啓発をメインといたします景観形成基本計画を足掛け3年に渡り、生駒市景観形成基本計画策定懇話会の方でご議論いただきました。

当審議会の委員の先生方のうち、4名の先生方にはそちらの懇話会の方にもご参加いただいております。

すでにパブリックコメントも終え、改めてこの景観審議会に諮問いたしまして、他の委員さまからもご意見を賜りたいと思っております。

ここでの審議を終えた後、本市といたしましては、景観形成基本計画の策定、景観計画の変更、景観条例の条例改正といった事務手続きを予定しているところでございます。どうか忌憚のないご意見を出していただきまして、よりよい計画の策定に向けて、またお知恵をお借りできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局

どうもありがとうございました。

それでは引き続きまして、本日の案件でございます生駒市景観形成基本計画の策定について、生駒市景観計画の変更について、及び生駒市景観条例の改正についての3諮問案件に係ります諮問書を市長の方から会長にお渡しをさせていただきます。

《市長から会長へ直接手渡す》

諮問書の写しにつきましては、みなさまのお手元に配布させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、市長でございますが、別の公務のためここで退席させていただきますので、ご了承よろしくお願いいたします。

《市長退室》

本日の案件でございますが3案件と、その他といたしまして今後のスケジュールについてとなっておりますが、案件に入ります前に配布させていただいております資料のご確認をお願いいたします。

まず、本日の会議次第、

それと先ほど申しました諮問書の写し、

資料1 「生駒市景観形成基本計画（案）」等のパブリックコメント結果について

資料2-1 生駒市景観形成基本計画の全体構成（案）

資料2-2 生駒市景観形成基本計画（案）

資料3 生駒市景観計画（変更案）

資料4 生駒市景観条例（改正案）

資料5 今後のスケジュール

となっております。配布漏れ等はありませんでしょうか。

それでは、生駒市景観条例施行規則第19条第6項の規定により、会長が議長として議事を進めることとなっておりますので、会長よろしくお願いいたします。

会 長 改めまして新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

先ほど、諮問書をいただきました3件の案件に関しまして、お諮りをさせていただきたいと思います。第1号案件としまして、生駒市景観形成基本計画の策定について、第2号案件生駒市景観計画の変更について、第3号案件生駒市景観条例の改正についてでございます。これ3つとも合関連しております、メインは第1号案件の基本計画の策定ということでございます。パブリックコメントを終了しまして、今日審議会にお諮りをさせていただきたいと思います。

この基本計画の策定に伴いまして、従来ありました景観計画の中から景観法に基づかない部分を景観形成基本計画の方に回しましたので、その辺りの改正が第2号案件の審議でございます。

第3号案件、条例でございますけれども、景観形成基本計画が決まりますまで、一番重要な理念の部分を条例の方には書き込んでおりませんでした、今回景観形成基本計画の策定の中で理念の方も定めるということになりましたので、その理念を条例の方にも追記するということをお諮りしたいと思っております。

それでは、まずは事務局の方から説明いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

《事務局説明》

会 長 サブタイトルを複数で決めることはなかなか難しいのですが、何かご意見ご質問ありますでしょうか。

委 員 サブタイトルが、表紙の中ではどういう形で表れるのですか。

事務局 その辺りもご議論いただければと思います。上の方にサブタイトルがきて、下に基本計画ですよ、という場合もありますし、これは基本計画です、中身はこういうものですとサブタイトルを付ける方法もあるかと思ひます。

会 長 景観というものを表に出すのか、それとも景観をあまり表に出さないで読んでもらえるように工夫をするのか、大きくは2つのタイプのご提案があると思うのですが、いかがでしょう。

なかなか意見が出ないようですが、挙手をするよりも紙を配っていただいて決めた方が、誰がどれに入れたかというのも問題もあり、言いにくいかなと思ひますので。

多数決ではないですけれども、一度どれが一番気に入っているかということを書いていただいて、それを参考にしながら最終議論で決定させていただきたいと思ひます。

事務局 一つひとつの案という形で見ていただいておりますけれども、組み合わせでサブタイトルを決めるというのもありかなという風に考えております。

例えば、前に会長の方からも、ひらがなが多い方がいいよというお話を聞いておりましたので、「共に」を「みんなで」という風に変えていただいて、「みんなで育む生駒らしい景観」とか、そういう風に組み合わせで考えていくのもありかなと思うのですが、いかがでしょうか。

会長 適切なものがないということであれば、先ほど説明いただきました、組み合わせで新しく作っていただいてもいいかなと思いますし、いやいや私もっといいアイデアあるよという方は、それを書いていただいてもいいと思います。

複数書かれますと、また集計が困りますので、一つに絞っていただいて、お願いします。

委員 この計画書ができれば、どういう形でみなさんに見てもらおうことになるのか、再度確認ですが、どこに置いておかれるとか配られるとか。

事務局 今年度は、基本計画を 300 部作らせていただきまして、各委員のみなさま、関係機関の方にお配りさせていただくことを考えております。市民の方には、図書館もしくは市の施設におきまして閲覧いただくことになると思います。来年度には増刷を考慮しておりますので、市民の方、自治会の方に配れたらと考えております。

計画書を策定しましたら、併せて概要版を作成させていただきまして、それについてはパンフレット置き場等に置かせていただきまして、広く配っていきたいと思っております。

会長 今お手元に集計が配布されましたけれども、みごとバラバラになっているのですが、複数入っているところが「生駒らしい景観づくり」と「いこまを愛でる」が2票ずつ入っております。いかがでしょうか、何かご意見いただければと思いますが。

委員 まず、基本計画の中では、漢字の「生駒」にしているのですが、サブタイトルでひらがなの「いこま」を使うのは変かなと思います。ひらがなの「いこま」にするのであれば全部ひらがなに統一した方がいいかなと思います。

それと、これパターン・ランゲージですよ。パターン・ランゲージなのに、パターン・ランゲージということがさっぱりわからないみたいなのが、ちょっと気になるかなと思ったのですが。

サブタイトルのサブタイトルになると変かなとも思うのですが。

この期に及んでですが、アレグサンダーの本のタイトルは「パタン」ですよ。これ「パターン」と言ってますよね。それも、この期に及んで気にはなりません。

事務局 パターン・ランゲージの件につきましては、当初、事務局でも「パタン」と使うべきか、「パターン」と使うべきかと議論いたしましたが、「パタン」という言葉が一般に馴染みがないので、「パターン」という言葉に置き換えをするということにさせていただきます。

会長 最初に訳した方が「パタン」と訳してしまっているのです。英語では普通の「パターン」ですね、「パターン・ランゲージ」ですから、それをどう発音してどう訳すのかという話だったと思うのですが。

委員 「生駒らしい景観づくり」その後に「生駒市景観形成基本計画」とあるのですが、どういうレイアウトになるのですか。ずっと並ぶのでしょうか。

事務局 真ん中にサブタイトルがついて、その下にこれは、「生駒市景観形成基本計画」ですよというレイアウトになると思います。

会長 多分、二段構えになると思います。それは、メイン、サブどちらが上に行くのか下にいくのかということですね。

正式名称は、「生駒市景観形成基本計画」なんですけれども、それでは人は読んでくれないということで、もう少し柔らかい名前を付けたいなという、そういう意味です。

委員 「いこまを愛でる」にしたのですが、それはこれだけですか。

事務局 「生駒市景観形成基本計画」はどこかには入れたいです。

委員 上の頭に「生駒市景観形成基本計画」を入れて、真ん中に「いこまを愛でる」というのがいいなという思いで入れさせてもらったのですが。

それと、「生駒」が漢字で書いてあるので、サブタイトルも漢字で統一をと言われたのですが、柔らかい感じであれば、サブタイトルはひらがなの方がいいような気がするのですが。

副会長 「生駒らしい景観づくり」なんですけれども、今回パターン・ランゲージで、生駒固有の景観をどう認識して、それをどういう風に景観計画や景観デザインにつなげていってほしいかというのがそもそもあったので、このパターンをかなり考えてきたと思っておりまして、「生駒固有の」とか「アイデンティティ」ということを平たく言うと「生駒らしさ」みたいな話になるかなというので「生駒らしい」を付けました。

「景観」という体言止めにするよりは、どちらかというとな計画づくりとか、これからの行為をいろいろと考えていただきたいということで、動きのある言葉で終わりたいなということで「づくり」という形にして、つなげると「生駒らしい景観づくり」、

ちょっとベタでよくある言葉かもしれませんが、「生駒らしい景観づくり」というフレーズにしたのは、そういう意味です。

また、タイトルが二段構えに多分なってくると思うのですが、もしこの言葉が一人歩きしても生きてくるかなという風に感じたのですが。

委員 「生駒市景観形成基本計画」という言葉で「景観」という言葉が使われて、また最後で「景観」という言葉、ちょっとどうかなという気がするのですが。

柔らかくいくなら、一般の人がほっと感じる言葉があったらいいのではないかと、思うし、まちを愛することがものすごく大事だと思う、そういった気持ちを一番表現できるのがこれかなという気持ちで、選ばせていただいています。

副会長 「いこまを愛でる」は、緑でも生きがいつくりでもどこでも使える言葉なので、これだけが歩き出した時には、逆に中を見ようかなという気になるかもしれないですが、タイトルだけで何が書いてあるかというところの表現も欲しいかなと思ひまして。

会長 はじめに整理させていただいたように大きく方向性が2つあるので、その辺りどちらを取るかですよね。

実は私も「いこまを愛でる」を入れたのですが、なぜかという内容がわからない方がいいと判断したからなのです。騙されて読んだら、なんだ景観の計画書かという方が、たくさんの人に読んでもらえるかなという趣旨で入れたのですが。

いかがでしょうか。表に景観を出すのか出さないのかという判断だと思うのですが。どちらもありで、考え次第でということだと思うのですが。

委員 最初に「いこまの歩き方」を外そうと、ガイドブックみたいに思いますので。

景観という言葉を入れるのか入れないのかということで、入れるという方向に傾きました。ただ、上2つだと基本計画そのものみたいな、2つ並べる意味があるのかなと正直思いましたので、少し色合いの違う、そしてこれは将来的な問題なので「未来」という言葉が入っている「景観で紡ぐ未来」に入れてみました。

委員 「景観」という言葉が入った方がいいと思うのですが。どんな方がどのような目的でご覧になるかということから取れば、「景観」という言葉が入っていた方がいいかなという感じがします。

会長 お話を聞いていると、「景観」を入れた方がいいという方が4名ということで、方向性はそちらの方かなと思いますが。そうすると2票入っている「生駒らしい景観づくり」ということで、あとはそれを少しアレンジしてみるということなのかなと思ひますけれども。

副会長 「生駒らしい景観づくり」だったら、文字の大きさを決めて横並びだと思うのですが、「いこまを愛でる」だったら大小デザインを変えて、「いこま」をだんだん大きい字から小さくして「愛でる」を上手くバックの背景にデザインしたような優しい雰囲気
の文字表現で体裁を整えるのであれば、そっちの方かなと思ひまして。

割とカチッと書いて二段でカチッと収めるのであれば「生駒らしい景観づくり」。

表紙の作り方も難しいような気もしますが、そういう雰囲気も併せて、「いこま」が被りますけれど「いこまを愛でる生駒らしい景観」なんですけれどもね。「いこま」が被るので外したのですけれども。

会 長 レイアウトや書体も大きく影響すると思いますので、先生方のご意見を聞きながら、最終詰めさせていただければと思います。

策定懇話会では決めれなくて、審議会の先生方に決めていただいたらどうですかということで、繰り越しでここに諮られたという経緯がございますけれども、今までのご議論を聞いていますと、サブタイトルは「生駒らしい景観づくり」ということによる
ろしいでしょうか。

委 員 これは、やはりサブタイトルなんですよね。

会 長 サブタイトルと言っているのは、正式名称が「生駒市景観形成基本計画」なので、サブタイトルという言い方で誤解があるのであれば愛称ですね。

委 員 愛称とサブタイトルは意味合いが違うような気がして。これを普段行政の中でなんと呼ぶかですよね。基本計画と呼ぶならサブタイトルを決めるということだと思ひ、こ
っちを本当に愛称として呼ぶなら、例えばですけれども「生駒らしい景観づくり計画」という
タイトルにしてしまう。

会 長 おそらく事務局も私もそこまでは考えてなかったですね。

委 員 ということは、サブタイトルですね。

副会長 私のイメージは、今考えている方が、表紙の上に大きく載って、小さく出てくるのが基本計画かなと。

事務局 付け方は、そういう風なイメージを事務局の方も持っております。

会 長 あちこちに話が飛んでいますので、まずはどういう名前にするかを決めていただいて、それからどちらが上か下かに関しての記載について、順番に議論をさせていただければと思ひておりますが。

委員 「いこまを愛でる景観づくり」はどうですか。

副会長 私もそんなイメージです。

委員 実は、私もそう思っただけで、私のイメージは、頭にタイトルが大きく出て、小さくサブタイトルのイメージだったのです。ですから、あまり長いとバランスが悪いかなと思ったのですが、もし逆がありうるのであれば、大きく「いこまを愛でる景観づくり」と書いて、小さく「生駒市景観形成基本計画」を入れれば、バランスも悪くないし、サブタイトルがかなり長くなっても悪くないと思います。

私も「いこまを愛でる景観づくり」というのは、いいな、その時の「いこま」は私もひらがなかなという風に思うのですけれども。

委員 もし、ひらがなの「いこま」や「愛でる」という言葉を使うのであれば、本体の最初にその言葉がどこかで出てこないか、タイトルだけの分かりやすさは、ちょっと変だと思えます。「はじめに」とかで、ひらがなの「いこま」が出てくるとか、「愛でる」気持ちが大変だとかが書かれてないと。タイトル重視でいくなれば、冒頭にタイトルの説明が要りますよね。

副会長 書き出すと、結論でその言葉が出てこないか嫌だとか、頭に出てこないか違和感はちょっと感じます。

会長 私は逆に、全体を通したものが、生駒を愛するということにつながっているということで、「いこまを愛でる」がいいのではないかなと思うのですが。

委員 もちろん全体を通して読み取れないと、サブタイトルとしては、成り立たないとは思いますが、これを全体通してそんなに読んでくれるのかということが実はあって、読まれるのはおそらく概要版になるんだろうと思うのですね。

そういうことを考えると、私も「はじめに」の中に何か一言触れておくような形にした方が、いきなり真ん中から開く人もいると思うのですが、大体は初めからこれを手に取られる方は見られると思うので、そういう名前になったという経緯が読み取りやすいのだろうと思うのですが。

委員 本体に書いてある中身の言葉じゃないと、そもそも成立しないという考え方なので、「生駒らしい景観づくり」しかないかなと思っています。

ただ、「いこまを愛でる」ということで決まるのであれば、中身の部分で多少、その考え方をどこかで述べていただかないと、本体ではずっと「大切に思う」という言葉で言っているのに、タイトルだけ「愛でる」という言葉が出てくるのは、やっぱり変かなと思います。

会 長 「生駒らしい景観づくり」で一旦決まりかけていたのですが、「いこまを愛でる」ということとの合体案の「いこまを愛でる景観づくり」がもう一つの案として、再浮上ということになったのですが。

「生駒らしい景観づくり」でそのままいくのか、「いこまを愛でる景観づくり」ということでいかせていただくのか。いかがでしょうか。

おそらく、タイトルの使い方と本文の使い方の違いというところもあるのかなと思うのですが。「大切に思う」を「愛でる」に変えればいいじゃないか、とおっしゃるけれども、本文の中で「愛でる」「愛でる」と続けて出てくるのは、少しニュアンスというか柔らかくなりすぎて、使いづらい言葉なのかなと。タイトルに「愛でる」という言葉を使うのであれば、それほど気にしなくてもいい使い方になるのかなというような、使い方の違いではないのかなと、私は判断するのですけれども。

委 員 「愛でる」という言葉の良し悪しではないんですよ。「愛でる」という言葉が嫌いでもなくて、むしろ柔らかそうでいいかなと思うのですが、ただ、それが本体に全く出てこないというのが、3年かけて作ってきた中身に出てこないのが、ちょっと変だと思えます。

副会長 私も文章を書くときに、タイトルはそれを噛み砕いて中身を表現しておかないと、いきなりタイトルと中身が違うというのは、すんなり来ないタイプでもあるので。

「はじめに」のところで、どうやって本文を、この本を使いながら「愛でてほしい」とかという話は触れておくべきだとは思いますが、そのあとは「大切に」とかいいかなと思うのですが。頭の方と本当は結論に「いこまを愛でる景観づくり」を進めましようと思わないと、なんとなく違和感を感じます。「いこまを愛でる」にするのであればですけれども。

無難なのは「生駒らしい」なのかなと、このままで行くのでしたら。

会 長 一度、「生駒らしい景観づくり」で決まりかけていたのですけれども、「いこまを愛でる」というのが、かなり違和感があるよというご意見があるとすれば、最初に決まりかけていた「生駒らしい景観づくり」に戻らせていただいて、決定させていただくということなのかなとは思いますが、いかがでしょうか。それで決定させていただいて、よろしいでしょうか。

それでは「生駒らしい景観づくり」ということで、サブタイトル、愛称で。

委 員 この場合の「生駒」は、やはり漢字になるのですか。漢字の「生駒」だと堅くなるかなという印象があって、「生駒市景観形成基本計画」というのが必ず出てくる訳ですから、それは当然分かる訳です。そうすると「生駒」はなんとなく、ひらがなの方がいいのかな、優しいとか柔らかいという印象があるのですけれども。

委員 中身が「生駒」「生駒らしさ」と全て漢字で書いてあるので、ちょっと難しいところかなと。

会長 例えば、往馬大社の「いこま」は違う字ですよ。ですから、元々古来は、漢字が入っている訳ではなくて、「いこま」という言葉があったと思うのです。そこに漢字が導入された時に、どういう当て字をするかということで、いろいろな当て字が出てきたということ言えば、古来の「いこま」は音だけの「いこま」であったと判断すれば、ひらがなであってもいいのかなというように思うのですが。

委員 「いこま」だったら、ひらがなでも漢字であっても誰でもわかるので、「愛でる」とは意味合いが違うのかなと思うのですが。

副会長 生駒に長いこと来させていただいておりますけれども、ひらがなで「いこま」と並ぶよりも漢字での「生駒」が染みついています。

委員 そういうことであれば、地元の方の意見かなと。私も漢字で全く違和感がないので。地元の方の感覚で決められたらいいのではないのでしょうか。

副会長 生駒にお住まいの方や働いておられる方が、ひらがな「いこま」の方が柔らかく感じられるのであれば、いいと思うのですけれども。文字的なバランスで言うと、漢字の「景観」だけが、逆に堅く感じられるようになってこないかなとは思いますが。

会長 パッと見たときに、ひらがな6文字が並ぶので、入ってこないですね。「らしい」というのを強調するのであれば、「生駒」は漢字の方が、強調はできるのかなと思います。たまたまですけれども、「生駒」漢字2文字、ひらがな3文字、「景観」漢字2文字、ひらがな3文字になっているので、2, 3, 2, 3というリズムとしてもいいかなという感じはするのですけれども。

それでは、「生駒らしい景観づくり」ということで、よろしいですか。

どれを大きく挙げるのかということで、事務局は「生駒らしい景観づくり」を前面に出して大きく表示をして、本来の正式名称「生駒市景観形成基本計画」は、どこかに小さく入れていこうというご判断ですけれども、その方向性はいいのでしょうか。

レイアウトは、いろいろ考えさせていただくということで。後日決めさせていただければと。

あと、ご提案のありました「パターン・ランゲージ」という言葉を表紙のどこかに入れるかどうかというのは、いかがでしょう。

委員 表紙には入れなくてもいいかなとは思いますが、章構成からすると、3章になって初めてパターンがわかるというのが気にはなる。基本計画がパターン・ランゲージで出来上がっているみたいな話は最初にあってもいいのかなと。

サブタイトルもあるので、パターン・ランゲージという言葉まで入れてしまうと長ったらしいというのもよくわかります。

会長 それでしたら、パターン・ランゲージという言葉は、なしでよろしいでしょうか。

それでは、サブタイトル、愛称は「生駒らしい景観づくり」ということに決定させていただいて、あとレイアウトの問題とかは事務局にお願いするということよろしいでしょうか。

案件の方に移らせていただきますが、3案件ございまして、説明は合関連しておりますので一括してさせていただきましたけれども、審議会として最終決定でございますので、諮問案件一つずつ議論をさせていただけたらと思います。

まず、第1号案件の生駒市景観形成基本計画の策定についてでございますが、今日審議会としての最終決定ということですので、ここをもうちょっと、こう変えてくださいというご意見を賜ればと思いますが、いかがでしょうか。

副会長 ちょっと気付いたところが一箇所。3-85上から6行目に植栽の種類というのがありまして、ここに地被類・芝生、その後が草生、これ何と読むのですか。花卉は読み仮名の「かき」でしょ。この並びがよくわからないなと思ひまして。

こういう風に漢字で読みにくいものは、他もひらがなを入れていただけているんですか、今まで。芝生・草生にするか、もうこれを飛ばしてしまってもいいのではないかなと思いますけれども。

会長 最終的に確認していただいて、訂正いただけますか。

副会長 花卉（かき）はひらがなで入れられるんですね。

これ、花卉も花卉類と呼んだ方がいいかもしれない。地被類、低木類、中木類、高木類でしょ、花卉類と入れておいた方がいいと思いますけれども。

一回調べていただいて、花卉類という表現がいいのか。

会長 辞書で確認させていただきますと、草生（くさふ）ということで草原、草の生えているところという解説があります。芝じゃないもので生えているものもあるだろうということで草生ということで、ここではかっこがついているのかなと思うのですが。

副会長 並べておいた方がいいかもしれませんね。芝生の後にかっこでしたら、芝生の説明をされているように見えるのではないかな、中黒の方がいいかと。

委員 言っておられるところに、草生という言葉が出てこないのです、カットしてしまった方がよいのではないですか。

会長 解説的な、そんなに学術的な文章ではないので、意味が伝わるだけでいいのかなとは思いますが。普段使わない言葉を使ってわかりにくくするよりも、こういうようなイメージですよとか、こういうようにしてくださいねということを伝えるということで、わかりやすさを取った方がよいのではないかと思います。

その辺りは、いろいろと考えていただいて最終的に決定していただいたらどうでしょう。

あといかがでしょう。

無いようでしたら、最終的な判断をさせていただければと思います。

第1号案件の生駒市景観形成基本計画の策定についてということに関しましては、原案どおり決定ということによろしいでしょうか。

《意見、質問等無し》

それでは異議なしということで、原案どおり承認ということで答申をさせていただきますと思います。

第2号案件の生駒市景観計画の変更についてということでございますけれども、ここは何かご質問・ご意見ございますでしょうか。

《意見、質問等無し》

会長 それではお諮りをさせていただきたいと思いますが、第2号案件生駒市景観計画の変更についても、原案どおり承認するということがよろしいでしょうか。

その旨、答申をさせていただきたいと思います。

第3号案件でございます生駒市景観条例の改正について、これは何かご質問・ご意見ございますでしょうか。

《意見、質問等無し》

会長 それでは第3号案件生駒市景観条例の改正についても、原案どおり承認することによろしいでしょうか。

全て案件の方は、終了させていただきました。

その他の今後のスケジュールについて事務局から説明いただければと思います。

《事務局説明》

会 長 今後のスケジュールと先ほど、これがどこでどういう形で目に触れるようになるのでしょうかというご質問もございましたけれども、今後できるだけたくさんの方に読んでいただいて、使っていただくという意味では、ご意見やご要望もあろうかと思えますので。スケジュールやこの計画への思い、あるいは使い方ですね、ご意見賜ればと思いますが。

私からは、できるだけたくさんの方に読んでいただきたい、そのためには増刷の話が出ましたが、これはかなり単価が高い印刷物になろうかと想定されるのですけれども、予算もしっかりと確保していただいて、ケチらないでお願いしたいと思えますし、場合によっては、今はデジタル化の時代でございますので、DVDの方が安く配布ができるかと思えます。DVD化も含めて考えていただくとありがたいなと思えます。

学会は、今はほとんど紙ベースで論文集を出さないようになってきておりまして、その方がHPにも載せやすいし、たくさんの方にも見ていただきやすいということも出てきております。いちいち市役所に本を取りに行くよりも、クリック一つで自宅から読めるという時代にもなってきてますので。そこを含めて、印刷の予算を確保するだけではなくて、デジタル化でみなさんに見ていただけるような予算の確保の仕方も、来年度以降は考えていただいたら、ありがたいなと思えますけれども。

委 員 是非、この計画を使って、景観配慮地区ないしは景観形成地区を増やしていくというアクションを次年度以降、考えていただきたいなと思えます。ありがたい報告書が本棚にあるだけではダメなので、それを実際に使って、まさに景観づくりをやるというプロセスを是非実現していただきたい。

副会長 あと窓口や相談に来られる時に、これを使って、ここはという話になると話が長くなるかもしれませんが、上手いこと活かせるような工夫ができないかなと思えますけれども。

委 員 大阪市の計画は販売していますので。この計画書も事業者さんに買ってもらうということがあっていいかもしれませんが、無料で渡すつもりですか。

事務局 来年度の増刷分は、財政部局からは販売するようと言われております。

会 長 ついでの話ですが、昔、大阪市が総合計画も販売していた時期がありまして、その時はカラー版と白黒版がありまして、二段構えにはなっていました。販売するのであれば、正価の値段と安価版みたいなものを作るという手もあるのかなと思うのですけれども。あるいはDVDにしたらもっと安くなるとか、すぐに手に取れる方がいいかなと思うのですけどね。洋書などは、よくありますよね、ペーパーバックとあって、紙の質を落として安く買えるという本が。そういうバージョンがあってもいいのかなと思えます。

あと、何か今後に向けてのご意見やご要望はございますでしょうか。

副会長 概要版は作られるのですか。どう作るのかなあというのが。

事務局 観音開きでできるくらいのもので、現在打ち合わせ中です。

副会長 苦労されるのではないかなと思ひまして。

委 員 パターンを入れるのですか。

事務局 パターンもこういうパターンがありますよというところまでかなと。31並べるくらいで、それを書き出すときりがないので。

副会長 パターンのつながりの図もなしで。

会 長 これも言葉使いと一緒に、「概要版」という言葉がどうかという気がするのですね。本体をコンパクトにするということになってくるとおもしろくないんですよ。読んでもらうための、広告・宣伝のための薄い冊子・パンフレットですよ。そう考えるとまた作り方とか内容が変わってきます。そこはサブタイトルの議論と同じように、誰に向けて何をアピールしたいのかということの方針をしっかりと決めていただいて、それにふさわしい概要版というよりもパンフレットをつくっていただいた方がいいのかなと思うのですけれども。

副会長 今考えたのは、パターンは代表的でよくわかりやすいものは大きくして何個か入れて、あとはずらずらと並べて、こんなんやっているから見てねという話を誘導させるようなものもいいかもしれないですね。全部入れるのはしんどいですよね。

会 長 その辺りは、またご意見を賜りながら。

以上で、予定しておりました次第の内容は、全て終了させていただきましたけれども、あと何か委員のみなさまからご意見等はございますでしょうか。

事務局その他は何かございますでしょうか。

それでは全て終了させていただきましたので、事務局の方にお返しをしたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局 長時間の審議になりまして、サブタイトルで相当時間をちょうだいしまして、大変申し訳ございませんでした。利用の仕方や概要版のつくり方などの意見もちょうだいいたしました。本当にどうもありがとうございます。また検討させていただきたいと思っております。

また、第1号案件では、景観形成基本計画の策定におきまして、原案をご了承いただきまして、本当にありがとうございました。

何回か議論の中に出てまいりました計画書の表紙でございますが、この表紙に関しましては、各市町村とも相当趣向を凝らして作ってある計画書もたくさんございます。懇話会の中でも、表紙につきましては重要であるという意見もちょうだいしておりますので、本日お決めいただきました「生駒らしい景観づくり」というサブテーマ、このイメージも考慮し活かしつつ、生駒市も負けずに検討させていただきまして、計画書を作成させていただきたいと思っておりますので、委員のみなさま方にはご期待をいただけたらという風に考えております。以上でございます。ありがとうございました。

会 長 ありがとうございました。負けずにということがありましたが、勝負する必要はありませんので、生駒は生駒でいいものを作っていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それではこれで25年度の第2回の景観審議会を終了させていただきたいと思いません。ありがとうございました。